



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第439号

2020年1月20日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

基本設計策定の委員会で市民の声を反映

1月17日、市庁舎等の建設基本設計策定に向け、第3回検討委員会が市役所内で開催されました。事務局から「素案」についての説明ののち、各委員から質疑や意見が出されました。ある委員の方は、市の財政にかかわって、「昨年秋の台風や豪雨で、避難所となる学校の体育館が、雨漏りのために使えなかった、それなのに市庁舎建設が優先されるのか」

「支所の役割を充実させることで、市役所の窓口業務を減らせるのでは」「誰のための市役所なのか、市民のためということをお忘れてはならない」「市庁舎の建て替え問題が市民に知らされていない、進捗状況など情報の提供を」などの意見が出されていました。少なくない市民の意見を反映させた発言で、共感できるものです。

最優先すべきは、防災・減災の取り組みこそ

災害時の避難場所の中には、改修工事を行わなければ利用できない施設があります。さらに、2階が避難所となっている施設も多く、高齢者や障がい者に利用しにくい問題もあり改善が求められています。「市役所まで行くのが大変、コミュニティバスの運行を」などの要望が繰り返し市民から届いています。

市民のためと言いながら、これらの課題を積み残したままで市庁舎の建て替えありきで進めているのか、住民の声を寄り添い再検討すべきです。

借金を増やさなくても市庁舎の整備は可能

日本共産党は、市庁舎建て替え問題では、今でも520億円の借金を抱えているのに、市庁舎建て替えで100億円近い借金を新たに膨らませていいのか、耐震補強による大規模改修なら、基金として積み立てている30億円で十分に賄えると訴えてきました（国の緊急防災・減災事業債を使えば7割が交付されます）。

さらに、「耐震改修工事が必要な公共施設が後回しにされていること」「防災・減災対策などの取り組みが遅れていること」「避難所にエアコンの設置を」など、優先すべき課題が山積しています。



「財政硬直」というなら、大胆な見直しを

2月末から3月市議会が始まります。市は来年度予算編成方針で、「過去の大型建設の負債により市の財政は硬直している」と述べています。にもかかわらず、100億円近い借金を市民に押し付けることは絶対に認められません。

日本共産党は、暮らし・福祉の充実こそ自治体の本来の役割であることを訴え、市民の安全・安心を最優先の市政に全力で頑張る決意です。